

消防通信

No.46

火事・救急・救助は119番

発行日：令和5年1月1日
発行元：双葉消防本部 総務課
所在地：榎葉町山田岡字仲丸1-110

～新年のご挨拶～

令和5年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まず、今なお全国各地で避難生活を余儀なくされている、双葉郡住民の皆様に対しまして心よりお見舞いを申し上げます。

双葉消防本部は、「ふるさと双葉を全力で守る」という、強い決意と使命感を抱き、住民の皆様へ寄り添った消防サービスを提供することを心がけて参りました。

困難な状況の中、今日まで消防活動を継続することができましたのも、多くの皆様の力強いご支援と暖かい励ましを戴いた賜であります。これまで双葉消防を支えて戴いております総ての皆様へ、改めて深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、6月には、帰還困難区域に指定されていた区域において、葛尾村、大熊町で解除され、8月には、双葉町において役場機能が戻り、住民の帰還が開始されるなど、復興が見える形で着実に進められております。

一方で新型コロナウイルスが大きな影響をあたえた年でもありました。

双葉消防では、今後も、感染拡大防止に取り組み、しっかりと準備を整え消防の責務を果たして参る所存であります。

そしてまた、常に危機感を持って、関係機関との強力な連携体制を確保し迅速かつ的確な初動体制を実践して参りたいと考えております。

今年も心新たに、「双葉消防魂」を胸に職員一丸となって双葉郡内の安全安心の確保に全力を傾注するとともに、避難をされている方々にも配慮を忘れず、住民の皆様へ寄り添った消防施策を展開して参りますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

寒さ厳しき折、住民の皆様には健康に留意され、本年が皆様とともに明るい未来に向けて歩みを進める良き年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

双葉地方広域市町村圏組合消防本部
消防長 加勢 信二

大規模火災対応訓練を実施しました。

令和4年10月14日、双葉町中野地区において帰還困難区域内での大規模火災発生を想定した「避難指示区域内における大規模火災対応訓練」を実施しました。本訓練は県内外から多くの消防機関が参加し、平成29年4月に浪江町帰還困難区域内の十万山で発生した林野火災を想定として行われ、指揮本部設置運営訓練をはじめとし、遠距離大量送水システム車を活用した消火用水の確保、地上消火ホースラインの作成、ドローン（無人航空機）を活用した上空からの延焼状況確認の訓練を行い、あらためて大規模火災への対応を確認しました。



現場指揮本部設置運営



遠距離大量送水システム車の活動



一斉放水の様子



ドローン(無人航空機)の活用

双葉消防本部公認キャラクター「ふたばちゃん」活動開始！

この度、双葉消防本部公認キャラクター「ふたばちゃん」の着ぐるみを双葉地方防火3団体（危険物安全協会・消防設備協会・防火管理者協議会）が製作し、運用を開始しました。

当消防本部ではふたばちゃんの着ぐるみを借用し、双葉町で開催された「ふたばワールド2022 in 双葉」などのイベント会場や、各町村の幼年消防クラブ防火パレードにおいて火災予防の啓発を行いました。

今後も双葉郡の安全・安心を守るため活動していきます！



【「ふたばちゃん」運用開始式】



【櫛葉町立あおぞらこども園防火パレード】



【大熊町ふるさと祭り】



【ふたばワールド2022in双葉】

感染症に注意しましょう

ウイルスや細菌は低温・低湿度を好むため、冬は夏よりも長く生存することができ感染力が強くなります。

また、人の体も寒さで体温が下がるためウイルスや細菌へ対抗する免疫力が落ちます。

感染症予防のため、引き続き基本的な感染対策と「新しい生活様式」を取り入れましょう。

感染症予防をしましょう



富岡消防署一日救急隊長



令和4年9月9日(救急の日)に富岡消防署では震災以降中断していた「一日救急隊長事業」を実施しました。今回は、ふたば医療センター附属病院の協力を得て、看護師として勤務する岩井成美さんに一日救急隊長を委嘱しました。

事業の中で救急隊の活動に対し理解を深めていただくとともに、富岡中学校の生徒へ救急講習会を通して応急手当の普及啓発を呼びかけました。

令和4年度全国統一防火標語 『お出かけは マスク戸締り 火の用心』



連絡先

双葉消防本部 0240-25-8523
 富岡消防署 0240-22-2119
 櫛葉分署 0240-25-2119
 川内出張所 0240-38-2119

消防指令センター 0240-25-8561
 浪江消防署 0240-34-4111
 葛尾出張所 0240-29-2119

